

2026.09.09

アストンマーティン ジャパン



Brough
Superior

アストンマーティンとブラフシューペリアが初の公道モデル、 圧巻の「AMB 002 Roadster」を発表

- AMB 002 はアストンマーティンとブラフシューペリア初の公道走行可能なバイク
- サーキット専用のスーパーバイク「AMB 001」「AMB 001 Pro」に続きラインアップを拡充、2つのアイコン的なハイパフォーマンス・ブランドの絆を深める
- 新生 AMB 002 Roadster はデザイン、イノベーション、クラフトマンシップ、希少性を融合し、こだわりを持つライダーやコレクター向けに誕生したモーターサイクル
- 限定 300 台、デリバリー開始は 2027 年第 3 四半期を予定



2026 年 9 月 9 日、ゲイドン（英国）：

アストンマーティンとブラフシューペリアは「AMB 002 Roadster」を発表します。2019 年と 2022 年に発表され大きな反響を呼んだ AMB 001 と AMB 001 Pro に続き、英国を象徴する伝統のハイパフォーマンス・ブランド 2 社の継続的な協力関係から誕生した、初の公道走行可能なバイクです。

すべてが新しくなった AMB 002 Roadster は、アストンマーティンとブラフシューペリアがバイクの設計・技術に関して進めてきた革新的な探求を受け継ぎ、走る楽しさを極限まで追求するために生まれた、軽量で高性能なマシンです。

ライダーにフォーカスして純粋に研ぎ澄まされたスポーツバイクである **AMB 002** は、流麗な線、コンパクトなプロポーション、精巧で彫刻的なカーボンファイバー製のボディパーツを採用し、劇的でダイナミックな緊張感あふれる造形を生み出しています。個性的な前進性重視の動力的スタイルを強調しながらバイクのメカニカルな美しさを垣間見せる姿は、アストンマーティンとブラフシューペリアのコラボレーション作品であることを一目で感じさせるモデルです。

AMB 002 のあらゆる曲線とディテールに、アストンマーティンのデザインスタジオのこだわりが見て取れます。デザインと機能の理想的な調和は、カーボンファイバー製フューエルタンクおよびサイドフェアリングの、磨き上げられた小石を思わせる流麗なフォルムに体现されています。ライダーが風を切り裂くように身を伏せた瞬間、その造形は自然に身体へと寄り添い、卓越したエアロダイナミクスと一体感のあるライディングエクスペリエンスを実現します。側面に切り込むように並ぶ三日月型の吸気口はエンジンの冷却と気流の調整を助け、低く配置されたミラーのワイヤーデザインのステーは **AMB 002** の軽量な造りを象徴しています。

四輪の影響をより直接的に受けているディテールも豊富に見られます。アイコニックなサイドストレーキには再解釈が加えられ、サイドフェアリングを貫いてヘッドランプを包むように伸びる形状に反映されています。楕円形のツインエキゾーストは、**Vanquish**、**DB12 S**、**DBX S** のエキゾーストフィニッシャーのデザインを思わせるリブ付きヒートシンクを備えます。リアに並ぶ劇的なライトブレードは、アストンマーティンのハイパーカー **Vulcan**、**Valkyrie**、**Valhalla** のリアに見られるものと同じであり、キーレス機能、バックライト付きイグニッションボタン、手作業で仕上げたサドルレザーのシートパッドはアストンマーティンのロードカーのラグジュアリーとクラフトマンシップを思わせます。

アストンマーティンのエグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーであるマレク・ライヒマンは次のように述べています。「**AMB 001**、**AMB 001 Pro** と、2つの最高に素晴らしいモーターサイクルを創造した後、アストンマーティンの公道バイクを創ることは長年の夢となっていました。アストンマーティンとブラフシューペリアのこれまでの創造物を特徴付ける大胆なデザイン性と革新的技術を合わせた **AMB 002** は、彫刻的な、本能に訴える、皆様に熱望されるマシンを目指す両社の情熱を鮮明に表現しています。それはモーターサイクルの世界において唯一無二の所有とライドの感覚を約束し、熱心なライダーにとっても、こだわりのコレクターにとっても、垂涎のロードモデルとなっています」

アストンマーティンとブラフシューペリアのバイクを他と区別する特徴は、その卓越したデザイン、素材、製造、クラフトマンシップにあります。これほどまでに高い水準は大量生産では実現できないため、これまでのサーキット専用モデル同様、**AMB 002** も 300 台のみの個別生産に限定されます。

ブラフスーパーリア代表のティエリー・アンリエットも次のように述べています。「このモーターサイクルは、デザイン面でも、ライディングの面でも、まさに唯一無二の存在です。この研ぎ澄まされたロードスターは、その動きも見た目と同様にあらゆる点が驚異的で胸高鳴る高揚感を実現し、パワーアップした新型エンジンによって駆動する、軽量で精密な刃のような車体と一体になる感覚が味わえます。ライダーが直立姿勢で乗ることと、視野がまったくさえぎられないことから、確かな安心感と自在なコントロール感を保ちながら、路面の上を滑らかに走るような独特な感覚が得られます」

2社の協力から生まれた初の公道走行用のバイクという歴史的な重要性にふさわしく、**AMB 002 Roadster**には真に独創的な、最先端技術が詰め込まれています。ビスポークの開発プロセスの中で、一切の妥協を排し、既存部品を流用することなく、ゼロからの開発が行われました。

心臓部には完全に新しい **1083cc** の **4** ストローク水冷 **V** ツインエンジンが鎮座し、最高出力 **130bhp**、最大トルク **110Nm** を発揮します。ローおよびミッドレンジで強力なトルクを発生しながら、滑らかで、かつスリリングな高回転域に達するチューニングは、**AMB 002** に応答性に優れ、乗り手を引き込むような特性をもたらし、高い操作性と高揚感あるパフォーマンスを実現します。公道で走る楽しさを極限まで追求するために生み出されたバイクとして、すべての走り——そしてすべてのライダーに特別感をもたらすことを使命としています。

AMB 002 のエンジンは仏トゥールーズにあるブラフスーパーリア本社で設計、機械加工、組み立てが行われ、軽量化と構造効率を追求して最適化した、削り出しアルミニウムを精密 **CNC** 加工した美しいエンジンケースを採用しています。これは、ブラフスーパーリアが航空宇宙産業級のプロセスと素材に精通していることを示す数々の例の一つにすぎません。

最新の **V** ツインエンジンは、類まれなるチタン製フレームの中に据えられます。ソリッドピレットを加工して製造されるフレームは構造上の背骨部分を形成し、ブラフスーパーリアの独特な骨格構造の印象的な特徴となっています。従来の設計に比べて非常に軽い、わずか **5kg** のフレームは、**50:50** という完璧な重量配分を実現する鍵を握ります。

カーボンファイバー製のボディパネルと燃料タンクで重心を極めて低くする **AMB 002** は、重量物を中央に集中させることによって、バランスと俊敏さを即座に感じさせます。わずか **190kg** という軽量の造りとローおよびミッドレンジの強力なトルクが、**AMB 002** に力強さと俊敏な運動性能を同時にもたらしめています。

ブラフスーパーリアの技術を洗練して **AMB 002** に適用したものとして、ダブルウィッシュボーンの「**Fior** 式フォーク」を採用したフロントサスペンションもあります。従来のテレスコピ

ック式フォークの妥協点を回避する **Fior** 式は、ステアリングとブレーキングの力を分離しながら、フロントエンドのコントロール精度を維持します。

AMB 001 Pro のために開発されたシステムを進化させた **AMB 002** は、非常に優れたステアリング精度と俊敏性に加え、高速コーナーでは安心感ある安定性も実現します。また、**Fior** 式が持つアンチダイブ特性によって、ブレーキング時の安定性にも非常に優れています。特にコーナーにおける車体傾斜時に、優れた安定性を発揮します。

アストンマーティンのブランド・ダイバーシティ・ディレクターのステファノ・サボレッティは次のようにコメントしています。「伝統的な英国の 2 つの名門による野心的な取り組みは、強力なラグジュアリーの共創へと進化しました。最初の限定的な実施から現在のラインアップまでの販売実績は、ブラフシューペリアの比類ないエンジニアリング技術と組み合わせることによって、アストンマーティンのデザイン言語に対する需要が、四輪をはるかに超えていくことを証明しています。画期的なデビューから実績ある長期的なブランド価値の創造への移行に成功できたパートナーシップだと思います」

ハンドビルトで限定生産される **AMB 002** は現在受注を開始し、デリバリーは 2027 年第 3 四半期から始まる予定です。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-J8K8gfdncKrDBoYi>

ブラフシューペリアについて：

ブラフシューペリアモーターサイクルス（**Brough Superior Motorcycles**）は、ジョージ・ブラフによって 1919 年に英国ノッティンガムで設立されました。ブラフシューペリアは「狂騒の 20 年代」と呼ばれた 1920 年代に、スリルを求める記録挑戦者やジェントルマンライダーたちが愛用する、最も速く、美しく、高価なブランドでした。「アラビアのロレンス」としても知られる T.E.ロレンスは、ブラフシューペリアの最も著名な愛好家で、同ブランドのバイクを 7 台所有していました。

2013 年、ブラフシューペリアは世界中の主要メーカーと協業していた高名なモーターサイクルデザイナー、ティエリー・アンリエットによって復活しました。彼が最初に甦らせたのは、ジョージ・ブラフのモーターサイクルの中でも最も有名で、アラビアのロレンスの愛車でもあった **SS100** でした。

新生ブラフシューペリアのバイクは、アールデコなデザインなどかつての **DNA** を保持しながら、独自技術と最高品質の素材を用いた改良によって現代の水準を超えていました。今日、ブ

ラフシューペリアは3種のモダンクラシックなラグジュアリー・モーターサイクルを製造しています。どれも、ライディングそのものを楽しめる優れた品質、高性能、精密なハンドリングで知られています。

これらの特徴あるモーターサイクルは、航空宇宙産業の中心地である仏トゥールーズで製造されるエンジンをはじめ、完全に統合されたプロセスによって手作業で限定生産されています。

アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBXに加え、同社初のミッドエンジン・ハイブリッド・カーであるValhallaなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは「ブレンドドライブレインアプローチ」による内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つというプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pibc.co.jp